公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスギフト幸田		
○保護者評価実施期間	令和7年6月1日	～	令和7年6月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年6月1日	～	令和7年6月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の様子に合わせた支援内容を検討している。	本人の様子に合わせた支援内容を毎日午前、午後と必ず打ち合わせをしている。その時に支援の見直しをする時間も確保している。	打ち合わせ時に何げなく疑問に思っていることなども積極的に伝えあえるような環境づくりを行う。（連絡ノートなど）
2	一人一人に寄り添った支援をしている。	一人一人に寄り添った支援をするために基本的な対応は統一をしている。 各支援者のよさ、得意を生かした関わり方で関係づくりができるようにチャレンジできる環境づくりをしている。	一人一人の様子をよく見て小さな変化に気がついて対応するように気がついたことを共有し合う。 各支援者のよさをみつけ、自信をもって支援ができる雰囲気づくりを行う。
3	2フロアあること、立地のよさ。	2フロアあることによりその時々々の活動内容や利用者によって利用者や職員配置を工夫して環境を整えている。 また、様々な経験をするにに適した環境を生かして電車に乗る練習、お店でお買い物をする練習、外食をする練習など行っている。	パーテーションなどを活用して環境を整え、静かに集中して過ごす場所や活動的に動く場所などその日利用する利用者様の様子や活動内容によってレイアウトを変更できるように自由度を持たせるように話し合って検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族間の交流をする機会が少ない。	プログラムの中に利用者様のご家族様の交流をする機会を組み込むことがなかなか難しくなっている。 いろいろな考え方があり、必要でないと感じている方もいらっしゃるため難しいところがある。	家族間の交流をする際に希望のある方が交流できるような内容を計画時に話し合い検討していく。
2	地域との交流をする機会が少ない。	プログラムの中に地域と交流をする機会を組み込むことがなかなか難しくなっている。 初めての試みで手さぐりになってしまう部分もある。 環境の変化が苦手な利用者様もおられるため、難しさを感じている。	利用者様本人への説明や理解を得ること。具体的に何をしていくとよいか検討し合い計画的に進めていけるようにしていく。
3	様々な事態が想定される場合の災害時の訓練の機会が少ない。	プログラムの中に地震が起きた場合の避難訓練は盛り込まれており、利用者様にも伝わっている。一方で熱中症、感染症、大雨時など他にも考えられる災害時の訓練が職員のみ参加になってしまっており、利用者様の参加が難しいところがある。	利用者様本人への説明や理解を得ること。不安をとりぞき、いざその場面に直面したときに動くことができるように少しずつ計画の中に盛り込んでいくようにする。